

このバージョンの新機能

このトピックでは、以前のバージョンでは使用できなかった、InfoAsset Manager 2021.1 に新しく導入された追加機能、改良点を全て説明します。

ワークグループマスターデータベースグループの追加

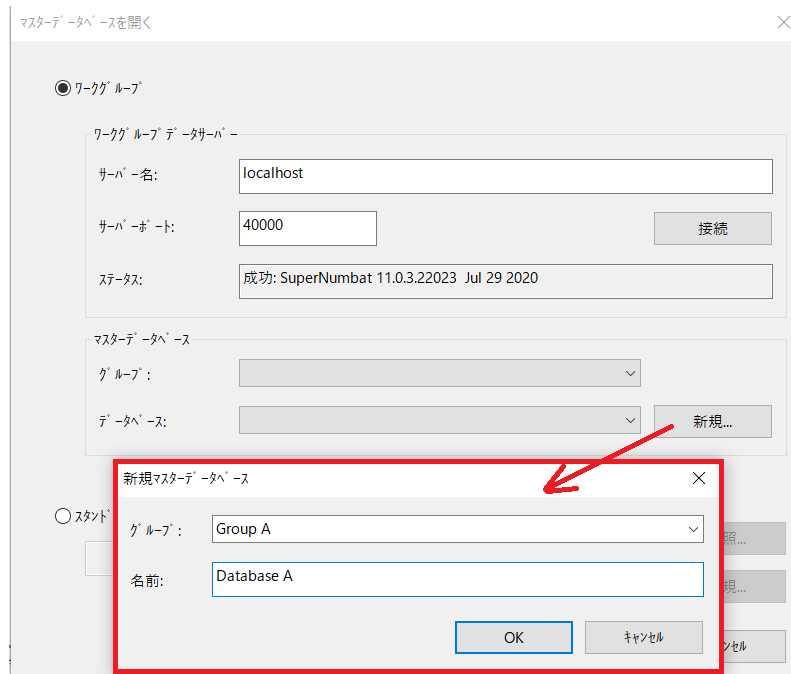
ワークグループマスターデータベースは、グループに割り当てることが可能になりました。ワークグループマスターデータベースを作成または開く際に、[マスターデータベースを開く](#) ダイアログの **新規...** ボタンをクリックすると、[新規マスターデータベース](#) ダイアログが表示され、以下のことができるようになりました。

- そのマスターデータベースが属する新しいグループの選択または作成
- 新しいデータベースの名前の定義

[マスターデータベースを開く](#) ダイアログに新しく **グループ** フィールドが追加され、すでに定義されているグループのリストから特定のグループを選択することができるようになりました。グループを選択すると、**データベース** フィールドのドロップダウンリストは、選択したグループに割り当てられたマスターデータベースの名前に制限されます。

マスターデータベースの作成に関する詳細は、ヘルプの [Master Database](#) トピックをご覧ください。

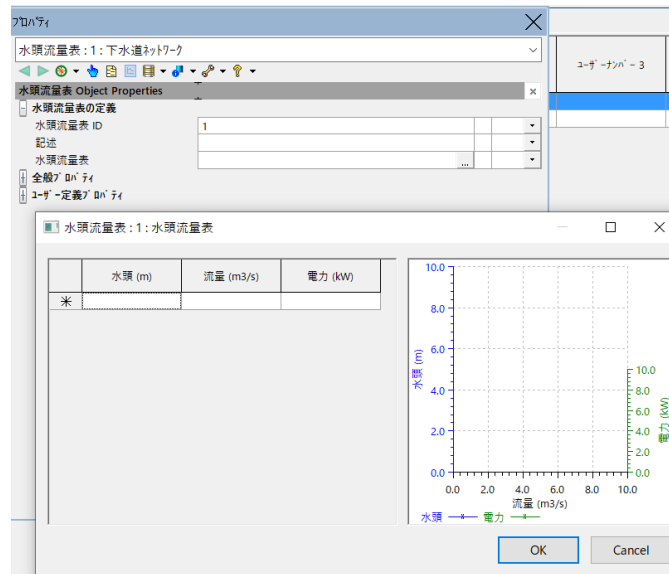
ワークグループマスターデータベースを使用するには、データベースをホストするマシン上に、[Workgroup Data Server](#) がインストールされており、サービスとして稼働している必要がありますのでご注意ください。



ポンプの水頭流量表が保存可能に

下水道ネットワークでは、水頭流量表を使用して、水頭値の変化に応じて揚水量を保存することが可能になりました。この表では、動力も定義することが可能です。水頭流量表を定義すると、適切なポンププロパティの新しい **水頭流量 ID** フィールドを使用して、その表に関連するポンプに割り当てることができます。

詳細については、[Ancillaries](#)、[Head Discharge Table Data Fields](#) と [Pump \(Collection\) Data Fields](#) のトピックをご覧ください。



ISYBAU XMLからCCTV調査データのインポートが可能に

下水道ネットワークでは、ISYBAU XML フォーマットのファイルから CCTV 調査データの **インポート** が可能になりました。


MSC5 XMLからCCTV調査データのインポートが可能に

下水道ネットワークでは、MSCC5 XML フォーマットのファイルから CCTV 調査データの **インポート** が可能になりました。

MSCC XML CCTV調査データのエクスポートが可能に

下水道ネットワークでは、MSCC XML CCTV 調査データと画像をエクスポートする際に、MSCC4 と MSCC5 のどちらの XML フォーマットにエクスポートするか選択できるようになりました。詳細については、[Survey Export Options Dialog](#) をご覧下さい。

除外されたオブジェクトの選択が可能に

新しい [除外オブジェクトの選択](#) ツールを使用すると、ジオプランから除外オブジェクト（ベースネットワークには存在するが、現在の [シナリオ](#) には存在しないオブジェクト）を選択することが可能になりました。この機能は、[選択ツールバー](#)（) または [選択メニュー](#) から使用することが可能です。

このツールは、全オブジェクトの選択、選択の絞り込み、カテゴリでゾーンを選択 など多くの選択機能だけでなく、ポリゴン選択 や 上流/下流リンクのトレースと選択 などの一部のジオプラン機能と一緒に使用することも可能です。[ジオプランメニュー](#)、[選択メニュー](#)、および [InfoAsset Manager ツールバー](#) のヘルプトピックには、[除外されたオブジェクトの選択](#) が有効な時に使用できる機能が記載されています。

選択除外オブジェクトを復元する機能がシナリオにて使用可能に

復元したい除外オブジェクト（ベースネットワークには存在するが、現在の [シナリオ](#) には存在しないオブジェクト）を選択することが可能になりました。

新しい [除外オブジェクトの選択](#) ツールを使用して、シナリオのジオプランから復元したい除外オブジェクトを選択し、[選択除外オブジェクトを復元](#) 機能を使用してそれらを現在のシナリオに復元することが可能となりました。選択除外オブジェクトを復元 機能は、[ネットワークメニュー](#) もしくは、[シナリオツールバー](#) の [シナリオ](#) オプションで使用することが可能です。

新たなファイルフォーマットから TIN 地形モデルのインポートが可能に

12D、XPTIN、LandXML フォーマットのファイルから TIN 地形モデルのインポートが可能になりました。詳細は [Importing and Exporting TIN Ground Models](#) をご覧ください。

新規 TIN 地形モデルを作成する際に、LandXML ファイルを使用することも可能になりました。2つのオプション - [LandXML \(Breakline, Definition\)](#) と [LandXML \(Contour, Datapoints\)](#) が外部データソースの [Type](#) フィールドに追加されました。詳細は [Creating a TIN Ground Model](#) と [New External Data Item Dialog](#) をご覧ください。

